

令和8年度

運営に関する計画

大阪市立瓜破西中学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

●安全・安心な教育の推進

いじめ、暴力行為、不登校の状況については、ここ数年、急激な増減はなく、校内生活指導部を中心とした取組が適切に行えているといえる。令和6年度に暴力行為(生徒間)が13件を数え、一時的に増加することがあったが、翌年以降は1桁に減少した。いじめについても近年は年間10件前後の認知件数であり、生徒の訴えに対して組織的に迅速に対応できているため大事には至っていない。不登校対策としては令和7年5月よりサポートルームを新設し、現在も改良を重ねながら整備を進めている。令和7年度はのべ341名の生徒がサポートルームに登校し、そのうちのべ178名が給食を喫食することができた。

●未来を切り拓く学力・体力の向上

チャレンジテストにおいて、いずれの学年・教科も府平均を目指して取り組んでいる。令和7年度は3年生で社会と理科が3.6ポイント、1年生で数学が5.1ポイント府平均を上回った。その他、多くの学年・教科において府平均に肉薄する結果となっている。今後も、スクールアドバイザーからの指導助言を生かし、教員各々が教科指導力を向上させるとともに、習熟度別授業も充実させ、生徒全体の得点アップを図る。また、指導教諭を有機的に活動させ、新たな取組にも挑戦していく。

●学びを支える教育環境の充実

スマートフォンの爆発的な普及にともなって、ゲーム、動画、SNS等に際限なく時間を費やす生徒が増加し、健康・生活習慣・学習への影響、ネットいじめ・スマホ依存等の課題が山積している。そのため、校内での生徒・教員の日々の懸命な教育活動が成果として報われ難い状況となっている。

子どもたちがスマートフォンから離れ、様々な誘惑を遮断できる学校時間が「最後の砦」という認識のもと、我々教員は授業改善を重ねるとともに、子どもたちの主体性や自尊感情を育むための集団活動を充実させることで、子どもたち一人ひとりの可能性を最大限に引き上げていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和11年度末目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を88%以上にする。
- 令和11年度末目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。
- 令和11年度末目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を91%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 中学生チャレンジテストにおける、国語の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.05ポイント向上させる。
- 中学生チャレンジテストにおける、数学のボリュームゾーンにあたる層の変化率を前年度より1ポイント向上させる。
- 中学生チャレンジテストにおける、数学の学力に課題の見られる生徒の割合を、同一母集団において経年比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和11年度末目標アンケートにおける「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にする。
- 教員1か月あたりの平均時間外勤務時間を月30時間以下とする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和8年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を88%以上にする。
- 令和8年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。
- 令和8年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を91%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 中学生チャレンジテストにおける、国語の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.05ポイント向上させる。
- 中学生チャレンジテストにおける、数学のボリュームゾーンにあたる層の変化率を前年度より1ポイント向上させる。
- 中学生チャレンジテストにおける、数学の学力に課題の見られる生徒の割合を、同一母集団において経年比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和8年度目標アンケートにおける「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にする。
- 教員1か月あたりの平均時間外勤務時間を月30時間以下とする。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立瓜破西中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>○令和8年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を88%以上にする。</p> <p>○令和8年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。</p> <p>○令和8年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を91%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1－3 問題行動への対応】（1年生）</p> <p>生徒一人ひとりが校内のルールを守れるよう、細部に渡り説明し、理解を深めさせる。</p>	
<p>指標</p> <p>学校評価アンケート(生徒)において「自分は、学校のきまりやルールを守っている。」の項目について、肯定的に回答する生徒を80%以上とする。</p>	
進捗状況	
目標の達成状況と結果と分析	

<p>取組内容②【基本的な方向1－3 問題行動への対応】（2年生）</p> <p>生徒の問題行動の未然防止と早期対応に取り組む。学級経営を基盤に規範意識を育成し、情報共有を徹底して組織的に対応する。また、問題行動発生時には事実確認を丁寧に行い、生徒の背景を踏まえた指導・支援を行うとともに、保護者や関係諸機関と連携し、再発防止に努める。</p>	
---	--

指標 <ul style="list-style-type: none"> ・規範意識の育成に向けた指導を週1回以上実施する。 ・学年内の情報共有を週1回以上行い、緊急案件は当日中に共有する。 ・問題行動発生時には当日中または翌日までに事実確認を100%実施する。 ・保護者連携は重大案件について当日中に行う。 ・対象生徒への継続的な指導・見守りを週1回以上実施する。 ・問題行動の発生件数を昨年と比較して10%以上減少させる。 	
進捗状況	
目標の達成状況と結果と分析	

取組内容③【基本的な方向2-3 人権を尊重する教育の推進】（3年生） 進路選択をしていく中で、自身を知る機会が多くなっていく。年間を通じて他者から認められる経験、自分を振り返る機会を定期的に作り、教室に肯定的な空気を作る。自身を肯定的に捉える機会を増やす。	
指標 学校評価アンケート(生徒)において、「自分にはよいところがあると思う」に対して肯定的な回答を昨年より2ポイント上げる。(昨年は81%)	
進捗状況	
目標の達成状況と結果と分析	

取組内容④【基本的な方向1-2 不登校への対応】（生活指導部） <ul style="list-style-type: none"> ・登校支援室（サポートルーム）の運営を充実させる。 ・こどもサポートネットにおいて、区役所と連携を深める。 	
指標 令和8年度の不登校生徒の割合を在籍生徒の10%未満とする。 （令和6年度 16.6% 令和7年度 12.4%）	
進捗状況	
目標の達成状況と結果と分析	

<p>取組内容⑤【基本的な方向1-6 安全教育の推進】（健康教育部） 校内、校外周辺の美化活動を行う。</p>	
<p>指標 学校評価アンケート(生徒)において、「校内の清掃は行き届いている」に対して肯定的な回答を86%以上にする。(令和7年度は86%)</p>	
<p>進捗状況</p>	
<p>目標の達成状況と結果と分析</p>	

<p>取組内容⑥【基本的な方向2-2 キャリア教育の推進】（進路） 進路に関する情報を積極的に集め、生徒一人ひとりが自分事としてとらえるよう指導を行う。</p>	
<p>指標 夏季・冬季休業中に、生徒への指示として、気になる進路先の情報を1つ以上調べさせる。</p>	
<p>進捗状況</p>	
<p>目標の達成状況と結果と分析</p>	

(様式2)

大阪市立瓜破西中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○中学生チャレンジテストにおける、国語の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.05ポイント向上させる。 ○中学生チャレンジテストにおける、数学のボリュームゾーンにあたる層の変化率を前年度より1ポイント向上させる。 ○中学生チャレンジテストにおける、数学の学力に課題の見られる生徒の割合を、同一母集団において経年比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】(国語) ・TTや習熟度別授業の充実 ・週1回以上の漢字学習や語彙力の向上を図る課題の実施 ・「読む」「書く」「話す」「聞く」のバランスがとれた授業の実施。	
指標 中学生チャレンジテストにおける国語の平均正答率の対府比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.05ポイント向上させる。	
進捗状況	
目標の達成状況と結果と分析	

取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】(社会) 「わかる」「できる」が体感できる授業の創造に努める。	
--	--

指標 授業アンケートにおける「社会の授業はわかる」に関する肯定的な回答が80%を上回る。	
進捗状況	
目標の達成状況と結果と分析	

取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】(数学) 学習習慣や基礎学力の定着等に向けた重点的な支援。(習熟度別授業)	
指標 ・中学生チャレンジテストにおける、ボリュームゾーンにあたる層の割合を昨年度より1ポイント以上向上させる。 ・中学生チャレンジテストにおける、学力に課題の見られる生徒の割合を昨年度より1ポイント以上減少させる。	
進捗状況	
目標の達成状況と結果と分析	

取組内容④【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】(理科) 探究的な学習を充実させる。 ・観察・実験の実施 ・生徒主体の探究活動	
指標 ・実験・観察を伴う授業の実施割合を前年度より向上させる。 ・探究レポートの提出率・質を向上させる。(昨年提出率80%)	
進捗状況	
目標の達成状況と結果と分析	

<p>取組内容⑤【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】(英語) 復習の時間を確保するためにTTを生かし分割授業を行う。そこでこれまでの復習をテーマとする授業を行う。 単語暗記を促すため単語テストを行い、単語力向上を図る。</p>	
<p>指標 チャレンジテストにおいて府平均を目指す。 まず、いずれの学年も昨年度より平均正答率を5ポイント増加させる。</p>	
<p>進捗状況</p>	
<p>目標の達成状況と結果と分析</p>	

<p>取組内容⑥【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】(音楽) 文化祭では、全学年「全体合唱」を実施するため、特に歌唱分野における音楽表現および技能の育成に重点を置いて、多様な音楽活動を展開していく。</p>	
<p>指標 文化祭後に「全体合唱」の取組に関する生徒アンケートを全学年実施し、その肯定回答を90%以上にする。(前年度97.6%)</p>	
<p>進捗状況</p>	
<p>目標の達成状況と結果と分析</p>	

<p>取組内容⑦【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】(美術) 3年間で、絵画のみに偏らず、陶芸や版画などさまざまな分野に触れる。作品を制作したあと、大切にできるように教材を選定する。かつ、生徒の様子を見ながら作品完成の成功体験をより多く重ねる。 1年生は基礎、2・3年生は基礎の定着と応用を意識し、別室、長欠生を含め、全員が参加できるように声をかける。</p>	
<p>指標 3年間で版画と陶芸を1回、また、ポスターカラーセット(デザインセット)を使用した作品を各学年1点以上制作する。</p>	
<p>進捗状況</p>	
<p>目標の達成状況と結果と分析</p>	

<p>取組内容⑧【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】(保体) 技能習熟度別に分かれて、個人の課題を達成させ技術向上を実現する。 体育の授業を通じて生涯スポーツとなる競技をみつけるきっかけとする。</p>	
<p>指標 年度末に行う授業アンケートで「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きですか」に対して最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を50%以上にする。</p>	
<p>進捗状況</p>	
<p>目標の達成状況と結果と分析</p>	

<p>取組内容⑨【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】(技術) 情報モラル教育を充実させる。</p>	
<p>指標 授業アンケートにおいて「スマートフォンの危険性や適切な使い方について理解していますか」の質問に対し、肯定的に回答する生徒の割合を70%以上にする。</p>	
<p>進捗状況</p>	
<p>目標の達成状況と結果と分析</p>	

<p>取組内容⑩【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】(家庭) 授業内容を精選し、実習作業を取り入れ、ものづくりに興味を持たせ生活技術の習得をめざす。</p>	
<p>指標 年末に行う教科内アンケートで 1年生では「基礎縫い(まつり縫い)ができるようになった」という項目で、肯定的な回答を70%以上にする。 2年生では、調理実習を3回以上行い、「料理に関して興味が出てきましたか(高まりましたか)」という項目で肯定的な回答を85%以上にする。(昨年度85%) 3年生では「家庭科で学習したことを普段の生活で実践(役立てることが)できましたか。」という項目で肯定的な回答を65%以上にする。(昨年度66%)</p>	

進捗状況
目標の達成状況と結果と分析

<p>取組内容⑩【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】(特支) 各学年担任、特別支援担任、通級担当が積極的に意見交換を行う。</p>	
<p>指標 特別支援教育委員会(計17名)を2カ月に1回実施する。</p>	
進捗状況	
目標の達成状況と結果と分析	

(様式2)

大阪市立瓜破西中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○令和8年度目標アンケートにおける「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にする。</p> <p>○教員1か月あたりの平均時間外勤務時間を月30時間以下とする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向7-1 働き方改革の推進】(教頭)</p> <p>教職員の時間外勤務時間を減らすため、週に一度の「ゆとりの日」を確実に設定し、教職員に対して計画的に業務にあたることを呼びかける。</p>	
<p>指標</p> <p>令和8年度学校評価アンケート(教職員)において「時間外勤務を減らすため計画的に業務にあたっている」の項目を新設し、肯定的に回答する教職員の割合を87%以上にする。</p>	
進捗状況	
目標の達成状況と結果と分析	

<p>取組内容②【基本的な方向7-1 働き方改革の推進】(教務部)</p> <p>保護者や第三者からの開示請求に対応できる成績基準表を作成し、成績の公平性を示す。また、成績の確認時においては2人以上で行う。</p> <p>教務関係の仕事を滞りなく行えるように計画を立て、配慮しながら実行する。</p>	
---	--

指標

学校アンケート（教職員）において、「教務の仕事が滞りなくできている」の設問における肯定的な意見を85%以上にする。

進捗状況

目標の達成状況と結果と分析